

証券コード 377A  
(発送日) 2026年3月12日  
(電子提供措置の開始日) 2026年3月5日

株 主 各 位

東京都新宿区市谷本村町3番29号  
株式会社 エージェント | Gホールディングス  
代表取締役社長 一 戸 敏

## 第1回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第1回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトへアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト <https://a-gent.co.jp/>

電子提供措置事項は、名古屋証券取引所（名証）のウェブサイトにも掲載しております。以下の名証ウェブサイト（上場銘柄情報）へアクセスのうえ、「コード」に当社証券コード「377A」又は「銘柄」に「エージェント | Gホールディングス」を入力・検索し、「適時開示情報」を選択して、ご確認くださいませ。

名証ウェブサイト（上場銘柄情報）

<https://www.nse.or.jp/listing/search/>

なお、当日ご出席されない場合は、書面（郵送）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2026年3月26日（木曜日）午後6時までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 2026年3月27日（金曜日）午前10時30分  |
| 2. 場 所 | 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル<br>TKP市ヶ谷カンファレンスセンター カンファレンスルーム7C<br>(末尾の会場ご案内図をご参照いただき、お間違えのないようご注意ください。) |

### 3. 目的事項 報告事項

1. 第1期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
(注)当社の第1期事業年度は2025年7月1日から2025年12月31日までであります。当連結会計年度は2025年1月1日から2025年12月31日までであります。
2. 第1期（2025年7月1日から2025年12月31日まで）計算書類報告の件

### 決議事項

第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額設定の件

第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対するストック・オプション報酬額及び内容決定の件

第4号議案 監査等委員である取締役の報酬額設定の件

### 4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

- (1)議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (2)代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。
- (3)議決権の不統一行使をされる場合は、株主総会の日の3日前までに議決権の不統一行使を行う旨とその理由を書面により当社にご通知ください。

以上

~~~~~  
◎ 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎ 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト及び名証ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。

◎ 書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

■事業報告 (新株予約権等の状況、会計監査人の状況、業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況)

■連結計算書類 (連結株主資本等変動計算書、連結注記表)

■計算書類 (株主資本等変動計算書、個別注記表)

■監査報告 (連結計算書類に係る会計監査報告、計算書類に係る会計監査報告、監査等委員会の監査報告)

監査等委員会及び会計監査人は上記の事項を含む監査対象書類を監査しております。

なお、本株主総会につきましては、書面交付請求の有無にかかわらず、株主の皆様へ電子提供措置事項から上記事項を除いたものを記載した書面を一律でお送りいたします。

# 事業報告

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当社は、2025年7月1日に単独株式移転により完全親会社として設立されたため、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

なお、当連結会計年度（2025年1月1日から2025年12月31日まで）の連結計算書類は、完全子会社となった株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの情報を引き継いで作成しております。また、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続く中、金融政策の変更に伴う金利上昇や株価の推移など、資産運用環境が大きく変化した一年となりました。一方で、物価高騰による家計の節約志向や地政学リスクの長期化、さらにはコンプライアンスに対する社会的な要請の一層の高まりなど、当社グループを取り巻く経営環境は激しい変化の中でありました。

このような環境下、当社グループは持続的成長の実現とグループガバナンスの強化、及び迅速な意思決定を目的として、2025年7月1日付で単独株式移転による持株会社体制へ移行し、「株式会社エーエージェント I Gホールディングス」を設立いたしました。続く10月にはグループ内組織再編を完了させ、M&Aや事業承継をより戦略的に推進する体制を整えております。

事業面におきましては、「Doing Our Best On Your Behalf（お客様の利益創出に最善を尽くす）」という企業理念のもと、経営難に直面する中小保険代理店を支援・統合する「保険代理店支援プラットフォーム」を積極的に展開いたしました。本プラットフォームを通じて、教育研修や営業支援を強化することで法令を遵守した適切な募集体制を維持し、効率的なマーケットの拡充を図っております。

また、2025年11月には松井証券株式会社との間で資本業務提携を締結いたしました。同社の強固な顧客基盤と当社グループの対面コンサルティング力を融合させることで、新たな金融サービスの創出に向けた強固な土台を構築いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、営業収益13,066,374千円となりました。一方、利益面につきましては、持株会社体制への移行に伴う設立費用や組織再編コストに加え、次世代基幹システムの刷新や株式会社コスモアビリティの子会社化といった将来の成長に向けた先行投資を戦略的に実行したことにより、営業利益は145,234千円、経常利益は141,773千円、親会社株主に帰属する当期純利益は9,754千円となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### ・国内事業

国内事業においては、ファイナンシャル・ジャパン株式会社における生命保険の売上が堅調に推移しました。また、当社グループのビジネスモデルの根幹でもある事業承継も順調に進み、募集人の当社グループへの合流や、募集人が保有する保険契約の譲り受けを通じて、損害保険の売上也堅調に推移しました。

一方で、国内保険業界の動向を踏まえ、より一層の組織体制と運営体制の強化を図るため、人員の増強等に政策的に費用を投下したほか、国内子会社2社（ファイナンシャル・ジャパン株式会社、株式会社保険ショップエージェント）における本社移転費用や、2025年1月に株式会社エージェント・インシュアランス・グループにおいて実施した、株式会社コスモアビリティの株式取得に係るアドバイザー費用など、一過性の費用も発生いたしました。

この結果、同事業の当連結会計年度における営業収益は12,735,604千円となり、セグメント利益は131,337千円となりました。

#### ・海外事業

米国事業では、大手ブローカーとの提携を強化し、新規顧客の獲得に取り組みました。特に健康保険部門での新規顧客獲得が顕著でした。また、新たな州での新規ライセンス取得も行い、お客様の多様なニーズに対応できる体制強化に努めています。

この結果、同事業の当連結会計年度における営業収益は330,770千円、セグメント利益は10,435千円となりました。

<事業別の営業収益>

| 事業区分 | 第1期<br>(2025年12月期) |        |
|------|--------------------|--------|
|      | 金額                 | 構成比    |
| 国内事業 | 12,735,604 千円      | 97.5 % |
| 海外事業 | 330,770            | 2.5    |
| 合計   | 13,066,374         | 100.0  |

② 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資等の総額は44,449千円であり、セグメントごとの設備投資状況について示すと、以下のとおりであります。

なお、設備投資額には、有形固定資産のほか、ソフトウェア（ソフトウェア仮勘定を含む）への投資を含んでおります。

当連結会計年度において重要な設備の除却・売却等はありません。

(国内事業)

さらなる事業拡大及びIT戦略の強化を図るため、新規事務所等の内部造作及び社用車の取得、並びに基幹システムの追加開発及びサーバー機器の整備等、総額で43,897千円の設備投資を実施いたしました。

(海外事業)

事務所の更新に伴うリース資産の計上を中心に、552千円の設備投資を実施いたしました。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度中に当社グループの所要資金として、金融機関より長期借入金300,000千円の資金調達を行いました。また、2025年12月2日を払込期日とする第三者割当増資により557,000株の新株式を発行し、695,693千円の資金調達を行いました。

④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

当社及び株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ（以下「分割会社」）は、2025年8月14日付で締結した吸収分割契約に基づき、2025年10月1日を吸収分割の効力発生日として、分割会社がその営む関係会社管理事業及び財務管理事業に関して有する権利義務を当社に承継させる吸収分割を行いました。

⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

当社の連結子会社である株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループは、2025年1月8日付で、株式会社コスモアビリティの全株式を取得し、同社を完全子会社といたしました。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                      | 【参考】<br>2022年<br>12月期 | 【参考】<br>2023年<br>12月期 | 【参考】<br>2024年<br>12月期 | 第1期<br>2025年<br>12月期<br>(当連結会計年度) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| 営 業 収 益 (千円)             | 3,267,913             | 3,547,472             | 8,161,281             | 13,066,374                        |
| 経 常 利 益 (千円)             | 187,780               | 154,402               | 133,551               | 141,773                           |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 (千円) | 112,401               | 102,197               | 53,355                | 9,754                             |
| 1株当たり当期純利益 (円)           | 56.87                 | 44.00                 | 22.97                 | 4.12                              |
| 総 資 産 (千円)               | 1,904,660             | 2,148,270             | 5,208,348             | 6,289,709                         |
| 純 資 産 (千円)               | 1,095,635             | 1,209,776             | 1,308,575             | 2,048,337                         |
| 1株当たり純資産 (円)             | 473.07                | 520.81                | 551.51                | 689.13                            |

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数によりそれぞれ算出しております。

2. 当社は、株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの単独株式移転により、株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの持株会社（完全親会社）として2025年7月1日に設立されました。

2024年12月期以前の状況については、ご参考として株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの決算数値を記載しております。

## ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分            | 第1期<br>2025年<br>12月期<br>(当事業年度) |
|----------------|---------------------------------|
| 営 業 収 益 (千円)   | 81,138                          |
| 経 常 損 失 (千円)   | △47,476                         |
| 当 期 純 損 失 (千円) | △38,776                         |
| 1株当たり当期純損失 (円) | △16.07                          |
| 総 資 産 (千円)     | 2,793,065                       |
| 純 資 産 (千円)     | 1,680,040                       |
| 1株当たり純資産 (円)   | 561.24                          |

- (注) 1. 1株当たり当期純損失は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数によりそれぞれ算出しております。
2. 当社は2025年7月1日に設立されたため、2024年12月期以前の状況については記載しておりません。
3. 設立第1期である当事業年度は、2025年7月1日から2025年12月31日までの6か月となっております。

## (3) 重要な親会社等及び子会社の状況

- ① 親会社等の状況  
該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名                      | 資 本 金  | 議 決 権 比 率 | 主 要 な 事 業 内 容 |
|----------------------------|--------|-----------|---------------|
| 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ | 100百万円 | 100%      | 保険代理店業        |
| ファイナンシャル・ジャパン株式会社          | 30百万円  | 100%      | 保険代理店業        |
| 株式会社コスモアビリティ               | 20百万円  | 100%      | システムコンサルティング業 |
| 株式会社保険ショップエージェント           | 10百万円  | 100%      | 保険代理店業        |
| Agent America, Inc.        | 2千US\$ | 100%      | 保険ブローカー業      |

- (注) 株式会社保険ショップエージェントに対する当社の議決権比率は、当社の子会社である株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループを通じての間接所有分です。

### ③ 特定完全子会社の状況

| 会社名                        | 住所                                          | 株式の帳簿価額  | 当社の総資産額  |
|----------------------------|---------------------------------------------|----------|----------|
| 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ | 東京都新宿区市谷本村町3-29<br>FORECAST市ヶ谷7階            | 526百万円   | 2,793百万円 |
| ファイナンシャル・ジャパン株式会社          | 東京都千代田区神田美土代町1番地<br>WORK VILLA MITOSHIRO 7階 | 1,004百万円 | 2,793百万円 |

### ④ その他の関係会社の状況

当社の「その他の関係会社」である住友生命保険相互会社は、当社の株式602,500株（議決権比率20.93%）を保有いたしております。当社は住友生命保険相互会社の企業グループの中で、乗合保険代理店として保険募集を行う企業という位置づけであります。当社以外には、いずみライフデザイナーズ株式会社、株式会社保険デザイン、マイコミュニケーション株式会社、株式会社スミセイ・サポート&コンサルティングが同事業を行っております。それぞれの会社が別々の営業チャネルにおいて保険募集を行っており、各社の業績が当社の業績に大きな影響を与える可能性は低いものと考えております。

なお、当連結会計年度末において、2025年12月の第三者割当増資及び株式譲渡により、松井証券株式会社が当社の株式788,000株（議決権比率27.37%）を保有し、新たにその他の関係会社となっております。

## (4) 対処すべき課題

### ① コンプライアンス推進及び内部統制の強化

当社グループは、昨今金融庁の有識者会議などでも議論されている、保険業法の改正等に伴う体制整備の向上や、保険代理店として求められる業務品質レベルがさらに高まる中、業界再編の動きに適切に対応していくことが重要だと考えております。お客様本位の業務運営方針（フィデューシャリー・デューティー）に則り、業務品質、募集品質の更なる向上を図るとともに、改正保険業法で求められる体制整備の強化に取り組んでまいります。さらに、コンプライアンスの徹底を経営の基本と位置づけ、「業務の有効性及び効率性」、「財務報告の信頼性」、「事業活動に関わる法令等の遵守」、「資産の保全」を目的に、透明で健全性の高い企業経営を目指し、内部統制の強化を図ります。

### ② 継続的な人財の確保と育成、保険募集人のリクルートの推進

M&A及び事業承継を通して事業が拡大していく上で、各拠点における人財の採用と育成は

引続き重要課題です。人財採用につきましては、ブランディング強化を行うとともに、リファラル採用にも積極的に取り組み、当社グループの企業理念を実践できる人財、特に将来の部支店のリーダーとなりうる営業人財、営業サポート人財の採用に注力いたします。

人財育成におきましては、社内研修制度にて目指すべき人財レベルを定め、全部署におけるスタンダードレベルの向上を図ります。また、財産管理を軸としたFPコンサルティングは、他社との差別化を図る上で必須のスキルであるため、「AFP（※）資格支援制度」を制定し、AFP認定者をより一層輩出してまいります。

### ③ デジタル戦略の強化

当社グループは、デジタル戦略を強化し、顧客データの戦略的活用、財務・会計との連携強化を図るべく、基幹システムの改良を行ってまいりました。合流いただく会社やパートナーとのシナジー効果等を発揮できるよう、今後においても更なる改良を重ね、より一層の生産性向上を図ります。現在、既存のお客様に展開している保険診断アプリ「ほけチョイス」等の活用を通じ、契約内容の分析と見直し等のアドバイスを行い、お客様のニーズにお応えできる最適な保険商品をご提案することで、アップセル・クロスセルの推進に取り組んでおります。また、Web等を活用したオンライン商談（非対面募集）や募集人とのWeb面談による活動管理、E-Learningシステム等を活用した教育を推進して非対面ならではの利便性を追求した営業活動の変革を図ります。

### ④ システムリスクへの対応

当社グループは生産性向上の観点より基幹システムの改修によるレベルアップを通じて、データベース・マーケティングによる営業活動を推進することとしておりますが、当社グループが保有する顧客情報の保護のためにシステムの安全性の確保と強化は重要な課題です。当社グループは、世界的にセキュリティレベルに定評のあるアマゾンウェブサービス（AWS）を利用して顧客情報を管理しておりますが、不正アクセス等のサイバー攻撃が想定されるリスクは完全にゼロにすることはできないとの認識のもと、各種のセキュリティ対策を実施するとともに定期的な運用の見直しを行っております。

### ⑤ M&A及び事業承継マーケットの競争への対応

昨今、保険代理店をめぐる統廃合の動きは加速しており、業界他社と、事業承継ビジネスにおいて競合するケースが一定程度発生しています。当社グループは、「保険代理店支援プラットフォーム」の強みである強力なサポート体制を構築して事業承継の展開、及び保険募集人の

リクルートの推進をしておりますが、競争環境において、業界他社を上回る成長を実現するために、営業推進と募集品質をきめ細かくサポートを含めた教育、管理、指導の仕組みである「保険代理店支援プラットフォーム」の下で、保険業法や各保険会社の規定に則った適正な保険募集を通じた販売力の強化に取り組んでおります。また、合流候補となる代理店や保険募集人に訴求できるような企業ブランディングの強化に取り組んでまいります。

⑥ 財務上の課題

当社グループは、主として株式取得資金のほか運転資金の充実化を目的とした金融機関から借入れはあるものの、基本的に自己資金及び営業キャッシュ・フローによる安定的な財務基盤を確保しております。今後も成長戦略の展開に伴い、内部留保の確保と営業キャッシュ・フローの改善等により財務体質を強化するとともに、株式市場からの必要な資金の確保と、金融機関からの融資等により多様な資金調達を図ってまいります。

※ AFP・・・Affiliated Financial Plannerの略で、日本FP協会が認定するファイナンシャルプランナーの国内民間資格のことを指します。

(5) 主要な事業内容 (2025年12月31日現在)

| 事業区分 | 事業内容           |
|------|----------------|
| 国内事業 | 日本国内における保険代理店業 |
| 海外事業 | 海外における保険ブローカー業 |

(6) 主要な事業所 (2025年12月31日現在)

① 当社

|     |        |
|-----|--------|
| 本 社 | 東京都新宿区 |
|-----|--------|

② 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ

|             |              |
|-------------|--------------|
| 本 社         | 東京都新宿区       |
| 本 社 営 業 部   | 東京都新宿区       |
| 東 京 東 支 店   | 東京都台東区       |
| 本社営業部 春日部支社 | 埼玉県春日部市      |
| 川 崎 支 店     | 神奈川県川崎市中原区   |
| 茨 城 支 店     | 茨城県水戸市       |
| 神 奈 川 北 支 店 | 神奈川県相模原市中央区  |
| 神 奈 川 支 店   | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 |
| 東 京 北 支 店   | 東京都豊島区       |
| 東 京 西 支 店   | 東京都立川市       |
| 愛 知 支 店     | 愛知県名古屋市中区    |
| 大 阪 支 店     | 大阪府吹田市       |
| 滋 賀 支 店     | 滋賀県草津市       |
| 広 島 支 店     | 広島県広島市中区     |
| 札 幌 支 店     | 北海道札幌市中央区    |
| 仙 台 支 店     | 宮城県仙台市若林区    |

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 仙 台 支 店 福 島 支 社 | 福 島 県 福 島 市     |
| 宮 城 北 支 店       | 宮 城 県 登 米 市     |
| 別 大 支 店         | 大 分 県 大 分 市     |
| 別 大 支 店 愛 媛 支 社 | 愛 媛 県 松 山 市     |
| 別 大 支 店 中 津 支 社 | 大 分 県 中 津 市     |
| 別 大 支 店 日 田 支 社 | 大 分 県 日 田 市     |
| 鹿 児 島 支 店       | 鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 |

③ ファイナンシャル・ジャパン株式会社

|             |             |
|-------------|-------------|
| 本 社         | 東京都千代田区     |
| 札幌支社        | 北海道札幌市中央区   |
| 札幌第一支社      | 北海道札幌市中央区   |
| 札幌第二支社      | 北海道札幌市北区    |
| 旭川サテライトオフィス | 北海道旭川市      |
| 仙台支社        | 宮城県仙台市青葉区   |
| 仙台第一支社      | 宮城県仙台市青葉区   |
| 首都圏第一支社     | 東京都品川区      |
| 首都圏第二支社     | 埼玉県さいたま市大宮区 |
| 東京第一支社      | 東京都品川区      |
| 宇都宮支社       | 栃木県宇都宮市     |
| 高崎サテライトオフィス | 群馬県高崎市      |
| 船橋支社        | 千葉県船橋市      |
| 神田支社        | 東京都千代田区     |
| 横浜支社        | 神奈川県横浜市中区   |
| 横浜馬車道支社     | 神奈川県横浜市中区   |
| 山梨支社        | 山梨県甲府市      |
| 長岡支社        | 新潟県長岡市      |
| 新潟サテライトオフィス | 新潟県新潟市東区    |
| 金沢支社        | 石川県金沢市      |
| 福井支社        | 福井県福井市      |
| 静岡岡支社       | 静岡県静岡市葵区    |
| 浜松支社        | 静岡県浜松市中央区   |
| 湖西サテライトオフィス | 静岡県湖西市      |
| 名古屋支社       | 愛知県名古屋市中区   |
| 名古屋第一支社     | 愛知県名古屋市西区   |
| 名古屋第二支社     | 愛知県名古屋市中村区  |
| 岐阜支社        | 岐阜県岐阜市      |
| 京都支社        | 京都府京都市下京区   |
| 奈良支社        | 奈良県奈良市      |

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| 近畿第一支社            | 大阪府吹田市    |
| 関西支社              | 大阪府大阪市淀川区 |
| 大阪支社              | 大阪府大阪市淀川区 |
| 大阪北支社             | 大阪府大阪市淀川区 |
| 梅田支社              | 大阪府大阪市北区  |
| 芦屋支社              | 兵庫県芦屋市    |
| 神戸支社              | 兵庫県神戸市中央区 |
| 姫路支社              | 兵庫県姫路市    |
| 淡路北サテライトオフィス      | 兵庫県淡路市    |
| パーティあわじ南サテライトオフィス | 兵庫県南あわじ市  |
| 岡山支社              | 岡山県岡山市北区  |
| 岡山第一サテライトオフィス     | 岡山県岡山市北区  |
| 倉敷サテライトオフィス       | 岡山県倉敷市    |
| 福山支社              | 広島県福山市    |
| 広島支社              | 広島県広島市中区  |
| 山口支社              | 山口県山口市    |
| 高松支社              | 香川県高松市    |
| 新居浜支社             | 愛媛県新居浜市   |
| 松山支社              | 愛媛県松山市    |
| 宇和島サテライトオフィス      | 愛媛県宇和島市   |
| 高知支社              | 高知県高知市    |
| 四万十支社             | 高知県四万十市   |
| 福岡支社              | 福岡県福岡市中央区 |
| 佐賀支社              | 佐賀県佐賀市    |
| 長崎支社              | 長崎県長崎市    |
| 大分支社              | 大分県大分市    |
| 熊本支社              | 熊本県熊本市北区  |
| 鹿児島支社             | 鹿児島県鹿児島市  |
| 沖縄支社              | 沖縄県那覇市    |
| 琉球サテライトオフィス       | 沖縄県浦添市    |

④ その他子会社

|                     |                                                    |
|---------------------|----------------------------------------------------|
| 株式会社コスモアビリティ        | 東京都千代田区                                            |
| 株式会社保険ショップエージェント    | 熊本県熊本市                                             |
| Agent America, Inc. | 米国カリフォルニア州トーランス、カリフォルニア州サンノゼ、テキサス州フリスコ、ジョージア州マリエッタ |

## (7) 使用人の状況 (2025年12月31日現在)

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分 | 使用人数          | 前連結会計年度末比増減 |
|------|---------------|-------------|
| 国内事業 | 286 (1,156) 名 | 25名増 (60名増) |
| 海外事業 | 10 (4)        | 1名減 (1名減)   |
| 合計   | 296 (1,160)   | 24名増 (59名増) |

- (注) 1. 当社は、2025年7月1日設立のため、参考として株式会社エージェンツ・インシュアランス・グループの前連結会計年度末の従業員数と増減を記載しております。
2. 使用人数は従業員数（当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む。委任型・雇用の執行役員を含む）であり、臨時雇用者数（嘱託社員、パートタイマー社員、パートナー社員、契約社員）は最近1年間の平均人員を（ ）に外数で記載しております。

### ② 当社の使用人の状況

| 使用人数    | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|---------|-----------|-------|--------|
| 1 (1) 名 | -         | 51.2歳 | 1.5年   |

- (注) 1. 当社は、2025年7月1日設立のため、前事業年度末との比較は行っておりません。
2. 使用人数は従業員数（委任型・雇用の執行役員を含む）であり、臨時雇用者数（嘱託社員）は最近1年間の平均人員を（ ）に外数で記載しております。
3. 平均勤続年数については、当社グループ会社での勤続年数を通算しております。

## (8) 主要な借入先の状況 (2025年12月31日現在)

| 借入先         | 借入額       |
|-------------|-----------|
| 株式会社りそな銀行   | 933,246千円 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 192,860千円 |
| 株式会社東日本銀行   | 120,000千円 |

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2025年12月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 7,864,000株
- ② 発行済株式の総数 2,879,848株
- ③ 株主数 511名
- ④ 大株主

| 株主名             | 持株数      | 持株比率   |
|-----------------|----------|--------|
| 松井証券株式会社        | 788,000株 | 27.36% |
| 住友生命保険相互会社      | 602,500  | 20.92  |
| 株式会社ザ・ファーストドア   | 560,600  | 19.47  |
| 伊藤真吾            | 120,000  | 4.17   |
| 宮脇邦人            | 87,000   | 3.02   |
| 川野潤子            | 66,650   | 2.31   |
| 株式会社MFTrustLead | 58,000   | 2.01   |
| 一戸敏             | 51,400   | 1.78   |
| 高橋真喜子           | 35,500   | 1.23   |
| 篠原裕幸            | 29,500   | 1.02   |

- (注) 1. 自己株式は保有しておりません。  
2. 持株比率は、小数点第3位以下を四捨五入して記載しております。

- ⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対し交付した株式の状況  
該当事項はありません。

- ⑥ その他株式に関する重要な事項

2025年12月2日を払込期日とする第三者割当増資による新株式の発行により、発行済株式の総数が557,000株、資本金および資本準備金がそれぞれ347,846,500円増加しております。

## (2) 会社役員 の 状況

### ① 取締役 の 状況 (2025年12月31日現在)

| 会社における地位                   | 氏 名       | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                  |
|----------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役 会 長                  | 唐 津 敏 徳   | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>取締役会長<br>株式会社保険ショップエージェント 取締役                                                                                                                                |
| 代 表 取 締 役 社 長              | 一 戸 敏     | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>代表取締役社長<br>株式会社保険ショップエージェント 代表取締役会長<br>Agent America, Inc. Director<br>株式会社ザ・ファーストドア 代表取締役<br>ファイナンシャル・ジャパン株式会社 取締役<br><担当><br>内部監査部管掌                       |
| 取 締 役<br>専 務 上 級 執 行 役 員   | 高 橋 真 喜 子 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>専務上級執行役員 兼 経営企画本部エグゼクティブゼ<br>ネラルマネージャー                                                                                                                       |
| 取 締 役                      | 栗 原 喜 子   | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>社外取締役<br>篠崎綜合法律事務所 弁護士<br>林糖尿病内科クリニック治験審査委員会 審査委員<br>東京簡易裁判所 民事調停委員<br>関東弁護士会連合会 地域司法充実推進委員会委員<br>社会福祉法人げんき 苦情解決第三者委員<br>渋谷区興行場法、旅館業法及び公衆浴場法運営協議会委<br>員 (会長) |
| 取 締 役                      | 渡 邊 徳 人   | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>社外取締役<br>株式会社サニーサイドアップグループ 代表取締役副社長<br>株式会社クムナムエンターテインメント 代表取締役<br>SUNNY SIDE UP KOREA, INC 代表取締役<br>株式会社フライパン 代表取締役会長<br>株式会社ステディスタディ 代表取締役                 |
| 取 締 役<br>( 常 勤 監 査 等 委 員 ) | 長 島 芳 明   | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>社外取締役常勤監査等委員<br>株式会社保険ショップエージェント 監査役                                                                                                                         |
| 取 締 役<br>( 監 査 等 委 員 )     | 橘 内 進     | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>社外取締役監査等委員<br>橘内公認会計士事務所 代表<br>Asia Alliance Partner Co., Ltd. 代表取締役<br>加賀電子株式会社 社外取締役監査等委員                                                                  |

| 会社における地位               | 氏 名     | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                    |
|------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役<br>( 監 査 等 委 員 ) | 二 木 洋 美 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ<br>社外取締役監査等委員<br>NR虎ノ門法律事務所 弁護士<br>NPO法人きずなメール 理事<br>NPO法人Fine 監事 |

- (注) 1. 取締役栗原喜子氏及び渡邊徳人氏並びに取締役（監査等委員）長島芳明氏、橘内進氏及び二木洋美氏は社外取締役であります。
2. 取締役（監査等委員）橘内進氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
3. 情報収集の充実を図り、内部監査部門等との十分な連携を通じて、監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するために長島芳明氏を常勤の監査等委員として選定しております。
4. 当社は、取締役栗原喜子氏及び渡邊徳人氏並びに取締役（監査等委員）長島芳明氏、橘内進氏及び二木洋美氏を名古屋証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
5. 2026年2月6日付で、当社子会社である株式会社エージェント・インシュアランス・グループが監査等委員会設置会社から監査役設置会社へ機関設計を変更したことに伴い、当社取締役（常勤監査等委員）長島芳明氏は同社の監査役に就任し、当社取締役（監査等委員）橘内進氏及び二木洋美氏は同社の取締役（監査等委員）を退任いたしました。

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項の規定により、非業務執行取締役との間で、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

## ③ 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険により、被保険者がその地位に基づいて行った行為に起因して、損害賠償請求された場合の法律上の損害賠償金及び訴訟費用が補償されます（株主代表訴訟の場合を含む）。被保険者が違法に利益又は便宜を得た場合や、犯罪行為、不正行為、詐欺行為又は法令、規則もしくは取締役法規に違反することを認識しながら行った行為については免責となります。

当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は、当社及び当社国内子会社の取締役（監査等委員である取締役を含む。）、監査役及び執行役員であり、すべての被保険者について、その保険料を全額当社が負担しております。

## ④ 取締役及び監査等委員である取締役の報酬等

### イ. 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

当社は、2025年7月1日開催の取締役会において決議した「取締役会の構成、取締役・執行役員の選解任及び報酬等に関する方針」において、取締役（監査等委員である取締役を除く。）、監査等委員である取締役及び執行役員の報酬体系及び報酬決定の方針を定めております。当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について指名・報酬委員会へ諮問し、答申を受けております。

また、取締役会は、当事業年度に係る取締役（監査等委員である取締役を除く。）の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が取締役会で決議された決定方針と整合していることや、指名・報酬委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）、監査等委員である取締役及び執行役員の報酬体系及び報酬決定の方針の内容の概要は次のとおりです。

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）、監査等委員である取締役及び執行役員報酬体系及び報酬決定の方針は、当社の企業理念の実現を實踐する優秀な人財を確保・維持し、企業価値の持続的な向上に向けた意識を高めることをコンセプトに、株主総会で決議した報酬等の総額の範囲内において、企業経営への貢献度をもって支払うことを基本方針とします。具体的には、各取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員報酬は、金銭での固定報酬と、当社の業績及び企業価値向上に対する意欲や士気を高め、より一層株主の皆様の利益を重視した業務展開を図ることを目的としたストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等とし、監査等委員である取締役の報酬は、金銭での固定報酬のみとします。個々の取締役及び執行役員報酬の決定に際しては、各職責等を踏まえた適正な水準とすることとします。

なお、ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬は、当社の取締役のほか、当社従業員及び子会社の取締役に対しても同様のストック・オプションとしての新株予約権を割り当てることができるものとします。

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の個人別の報酬等の内容は、株主総会で決議した報酬等の総額の範囲内において、指名・報酬委員会の答申内容を反映し、十分な審議を経て取締役会決議によって決定するものとします。なお、執行役員個人別の報酬等の内容は、指名・報酬委員会の答申内容を反映し、十分な審議を経て取締役会決議によって決定します。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員報酬等のうち、月例の固定報酬は、役位、職責、在任年数に応じて他社水準、当社の業績、従業員給与の水準等を考慮しながら総合的に勘案して決定し、ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬は、役位、職責、当社の業績及び企業価値向上に対する貢献度等に応じて決定するものとします。なお、監査等委員である取締役の個別報酬については、監査等委員である取締役の協議の上決定するものとします。

#### □. 当事業年度に係る報酬等の総額等

| 区 分                        | 報酬等の総額              | 報酬等の種類別の総額          |            |                | 対象となる<br>役員の数 |
|----------------------------|---------------------|---------------------|------------|----------------|---------------|
|                            |                     | 基本報酬                | 業績連動報酬等    | 非金銭報酬等         |               |
| 取締役（監査等委員を除く）<br>（うち社外取締役） | 46,334千円<br>(3,000) | 38,400千円<br>(3,000) | -千円<br>(-) | 7,934千円<br>(-) | 5名<br>(2)     |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役）    | 6,000<br>(6,000)    | 6,000<br>(6,000)    | -<br>(-)   | -<br>(-)       | 3<br>(3)      |
| 合 計<br>（うち社外取締役）           | 52,334<br>(9,000)   | 44,400<br>(9,000)   | -<br>(-)   | 7,934<br>(-)   | 8<br>(5)      |

- (注) 1. 当社の設立日である2025年7月1日から2025年12月31日までの実績であります。
2. 当社定款附則第2条第1項に基づき、当社の設立の日である2025年7月1日から最初の定時株主総会終結の時までの期間の当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬等のうち金銭で支給するものの総額は、「年額300百万円以内」と定められております。なお、当該定款を制定した日における対象取締役の員数は5名です。
3. 上記第2項の金銭報酬の額の枠内にて、当社定款附則第2条第3項に基づき、取締役（監査等委員である取締役を除く。）を対象としたストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等の額は、「年額150百万円以内（うち社外取締役分は25百万円以内）」と定められております。表中の「非金銭報酬等」は、当事業年度における新株予約権の費用計上額であります。なお、当該定款を制定した日における対象取締役の員数は5名です。
4. 当社定款附則第2条第2項に基づき、当社の設立の日である2025年7月1日から最初の定時株主総会終結の時までの期間の当社の監査等委員である取締役の報酬等のうち金銭で支給するものの総額は、「年額50百万円以内」と定められております。なお、当該定款を制定した日における対象取締役の員数は3名です。
5. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
- ハ. 社外役員が親会社等又は親会社等の子会社等（当社を除く）から受けた役員報酬等の総額該当事項はありません。

⑤ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

|                    |      | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                  |
|--------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役              | 栗原喜子 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>篠崎綜合法律事務所 弁護士<br>林糖尿病内科クリニック治験審査委員会 審査委員<br>東京簡易裁判所 民事調停委員<br>関東弁護士会連合会 地域司法充実推進委員会委員<br>社会福祉法人げんき 苦情解決第三者委員<br>渋谷区興行場法、旅館業法及び公衆浴場法運営協議会委員（会長） |
| 社外取締役              | 渡邊徳人 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>株式会社サニーサイドアップグループ 代表取締役副社長<br>株式会社クムナムエンターテインメント 代表取締役<br>SUNNY SIDE UP KOREA,INC 代表取締役<br>株式会社フライパン 代表取締役会長<br>株式会社ステディスタディ 代表取締役             |
| 社外取締役<br>(常勤監査等委員) | 長島芳明 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>常勤監査等委員<br>株式会社保険ショップエージェント 監査役                                                                                                                |
| 社外取締役<br>(監査等委員)   | 橘内進  | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>監査等委員<br>橘内公認会計士事務所 代表<br>Asia Alliance Partner Co., Ltd. 代表取締役<br>加賀電子株式会社 取締役監査等委員                                                           |
| 社外取締役<br>(監査等委員)   | 二木洋美 | 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>監査等委員<br>NR虎ノ門法律事務所 弁護士<br>NPO法人さずなメール 理事<br>NPO法人Fine 監事                                                                                      |

(注) 1. 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ及び株式会社保険ショップは当社の子会社であります。

2. その他の重要な兼職先と当社の間には、特別な関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

|            | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 栗原喜子 | <p>当事業年度に開催された取締役会8回のすべてに出席しました。弁護士として法律に関する専門的な知識及び実務経験等を有しており、それらを活かして独立した客観的な立場から経営の監督機能の強化に資することを期待しております。関連法令と社内規程との抵触の問題、内部統制やリスク管理体制の整備、関連当事者との間の利益相反の管理等について、問題提起を行い事実関係について説明を求めるなどして、適法性の確認や、問題がある場合にはその旨を指摘する役割を担う等、当社の適切なガバナンス体制・リスク管理体制の整備等に寄与し、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。</p> <p>また、指名・報酬委員会の委員として、当事業年度に開催された委員会1回すべてに出席し、当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定過程における監督機能を担っております。</p> <p>さらに、全監査等委員との面談を行う中で、取締役会の実効性・公平性及び適正性を高めるための発言を行っております。</p> |
| 社外取締役 渡邊徳人 | <p>当事業年度に開催された取締役会8回のすべてに出席しました。税理士等としての税務、財務及び会計に関する高い見識・専門性と豊富な経験、及び上場会社の代表取締役としてガバナンス体制を自ら牽引して構築してきた経験を有しており、それらを活かして独立した客観的な立場から当社のより一層のガバナンス強化に資することを期待しております。上場会社に求められる適切なガバナンス体制を構築するうえで有用な助言を行う等、当社の適切なガバナンス体制・リスク管理体制の整備等に寄与し、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。</p> <p>また、指名・報酬委員会の委員長として、当事業年度に開催された委員会1回すべてに出席し、本委員会の議事進行を行うとともに、当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定過程における監督機能を主導しております。</p> <p>さらに、全監査等委員との面談を行う中で、取締役会の実効性・公平性及び適正性を高めるための発言を行っております。</p>    |

|                            | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役<br>(常勤監査等委員) 長 島 芳 明 | <p>当事業年度に開催された取締役会8回のすべてに出席しました。長年にわたり記者、編集者として数多くの企業の取材・調査を行ってきた経験により、企業のマネジメント、コンプライアンス、財務、会計、人事に関する豊富な知識を有しており、それらを活かして業務執行から独立した客観的な立場で社外取締役(常勤監査等委員)として監査体制の強化や専門的な見地から適宜助言等を行っております。</p> <p>当事業年度において開催された監査等委員会7回のすべてに出席いたしました。監査結果についての意見交換等、専門的見地から適宜、必要な発言を行っております。また、常勤監査等委員として当社全部門への往査を実施するとともに、社内重要会議への出席、稟議書類の査閲、交際費費消状況監査を都度行い、それらの結果について、毎月開催する監査等委員会において報告・共有を行っているほか、代表取締役社長との面談を月1回、取締役(社外取締役を含む)との面談も不定期で行っております。期末監査については、計算書類の監査を行うとともに、業務監査、内部統制監査の結果を監査報告としてまとめ、監査等委員会にて審議・決議しております。さらに、監査の質的向上を図る為、監査等委員・内部監査部・会計監査人との三様監査ミーティングを四半期に1回行っております。</p> <p>取締役会では、監査等委員会での審議・決議内容の報告を行っているほか、取締役会でのその他の決議事項についても積極的に発言を行い、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。</p> <p>また、指名・報酬委員会の委員として、当事業年度に開催された委員会1回すべてに出席し、当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定過程における監督機能を担っております。常勤監査等委員として、役員の指名・報酬に関する事項について監査等委員会と業務執行側との意見交換並びに監査等委員会としての意見形成に寄与し、役員の指名・報酬に関する監督機能の強化に資する役割も担っております。</p> <p>さらに、監査等委員でない取締役と全監査等委員の面談を行う中で、取締役会の実効性・公平性及び適正性を高めるための発言を行っております。</p> |

|                        | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役<br>(監査等委員) 橘 内 進 | <p>             当事業年度に開催された取締役会8回のすべてに出席しました。公認会計士として専門的な知識及び実務経験等と、上場会社の社外監査役としての経験を有しており、それらを活かして業務執行から独立した客観的な立場から社外取締役 監査等委員として監査体制の強化や専門的な見地から適宜助言等を行うことを期待しております。特に、上場会社のコーポレート・ガバナンス、財務会計、グローバルの分野においては、他の取締役の意思決定や監査等委員の監査等の補助・参考になるような情報提供やアドバイスの役割を期待しております。取締役会での当社の四半期及び月次の決算報告や当社のガバナンス体制に対して適宜助言等を行っております。当社の適切なガバナンス体制・リスク管理体制の整備等に寄与しており、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。           </p> <p>             当事業年度において開催された監査等委員会7回のすべてに出席いたしました。監査結果についての意見交換等、専門の見地から適宜、必要な発言を行っております。また、監査の質的向上を図る為、監査等委員・内部監査部・会計監査人との三様監査ミーティングを四半期に1回行っております。           </p> <p>             さらに、監査等委員でない取締役と全監査等委員の面談を行う中で、取締役会の実効性・公平性及び適正性を高めるための発言を行っております。           </p> |

|                          | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役<br>(監査等委員) 二 木 洋 美 | <p>             当事業年度に開催された取締役会8回のすべてに出席しました。法律の専門家としての豊富な経験と高い見識を有し、一般民事、金融会社の法務コンプライアンス対応を含む企業法務等の専門性の高い分野の案件を多く扱ってきたご経験と、外国人ローヤリングネットワークに所属し、渉外案件を多数対応している弁護士としてのグローバルな見地から、取締役会や監査等委員会のみならず折々での有益な意見陳述に期待すると同時に、長島常勤監査等委員の監査報告等に適宜助言を行うことを期待しております。当社の適切なガバナンス体制・リスク管理体制の整備等に寄与しており、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。           </p> <p>             また、当事業年度において開催された監査等委員会7回のすべてに出席いたしました。監査結果についての意見交換等、専門的見地から適宜、必要な発言を行っております。また、監査の質的向上を図る為、監査等委員・内部監査部・会計監査人との三様監査ミーティングを四半期に1回行っております。           </p> <p>             さらに、監査等委員会のほかに、監査等委員でない取締役と全監査等委員の面談を行う中で、取締役会の実効性・公平性及び適正性を高めるための発言を行っております。           </p> |

### 3. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主に対する利益還元策を重要な経営課題の一つであると認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、適正な利益配分を実施することを基本方針としております。

将来的には、財政状態及び経営成績等を勘案して、各期の株主に対する利益還元策を決定していく予定であります。内部留保の充実を図り財務体質の強化と事業拡大のための投資等を実施し一層の事業拡大や競争力の維持・強化を目指すことが、株主に対する最大の利益還元策となると考えており、当事業年度においては配当を実施いたしませんでした。当社は今後もグループ全体の業績を向上させることにより、配当実施を含めた検討を行い、株主還元・利益配分を将来にわたり着実に増加させる努力を継続し、株主価値向上を目指します。

内部留保資金につきましては、今後の事業拡大や事業効率化のための投資、優秀な人財の確保や育成投資等の中長期的投資に充当し、企業価値の増大に努める方針です。

---

(注) 事業報告に記載の金額・株数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              | 科 目             | 金 額              |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>   |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>4,447,831</b> | <b>流動負債</b>     | <b>3,267,217</b> |
| 現金及び預金          | 2,745,606        | 1年内返済予定の長期借入金   | 273,306          |
| 売掛金             | 1,491,765        | 営業未払金           | 1,806,543        |
| 前払費用            | 165,953          | 未払費用            | 101,129          |
| その他             | 54,022           | 未払法人税等          | 105,416          |
| 貸倒引当金           | △9,515           | 未払消費税等          | 89,497           |
| <b>固定資産</b>     | <b>1,834,283</b> | 預り金             | 303,068          |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>118,288</b>   | 代理店手数料返金負債      | 378,939          |
| 建物              | 76,621           | 賞与引当金           | 198,399          |
| 車両運搬具           | 15,231           | その他             | 10,917           |
| 工具、器具及び備品       | 14,749           | <b>固定負債</b>     | <b>974,154</b>   |
| 土地              | 642              | 長期借入金           | 972,800          |
| リース資産           | 10,684           | その他             | 1,354            |
| その他             | 358              | <b>負債合計</b>     | <b>4,241,372</b> |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,287,097</b> | <b>(純資産の部)</b>  |                  |
| のれん             | 882,584          | <b>株主資本</b>     | <b>1,943,930</b> |
| ソフトウェア          | 59,281           | 資本金             | 397,846          |
| 顧客関連資産          | 344,877          | 資本剰余金           | 1,257,209        |
| その他             | 353              | 利益剰余金           | 288,874          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>428,898</b>   | その他の包括利益累計額     | 40,645           |
| 投資有価証券          | 460              | その他有価証券評価差額金    | 262              |
| 出資              | 31               | 為替換算調整勘定        | 40,382           |
| 長期前払費用          | 18,401           | <b>新株予約権</b>    | <b>63,761</b>    |
| 長期貸付金           | 1,219            |                 |                  |
| 敷金及び保証金         | 120,347          |                 |                  |
| 繰延税金資産          | 270,288          |                 |                  |
| その他             | 18,649           |                 |                  |
| 貸倒引当金           | △500             |                 |                  |
| <b>繰延資産</b>     | <b>7,594</b>     |                 |                  |
| 株式交付費           | 7,594            | <b>純資産合計</b>    | <b>2,048,337</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>6,289,709</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>6,289,709</b> |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科                    |                             | 目           |                  | 金     |         | 額          |   |     |
|----------------------|-----------------------------|-------------|------------------|-------|---------|------------|---|-----|
| 営業<br>営業<br>営業<br>営業 | 業<br>業<br>業<br>業            | 取<br>費<br>利 | 益<br>用<br>益<br>益 |       |         | 13,066,374 |   |     |
|                      |                             |             |                  |       |         | 12,921,139 |   |     |
|                      |                             | 外           | 取                |       |         | 145,234    |   |     |
|                      | 受                           | 取           | 利                | 2,056 | 息       |            |   |     |
|                      | 受                           | 取           | 配                | 1,248 | 当       |            |   |     |
|                      | 受                           | 取           | 保                | 2,205 | 金       |            |   |     |
|                      | 受                           | 取           | 補                | 8,413 | 金       |            |   |     |
|                      | 補                           | 助           | 金                | 2,177 | 収       |            |   |     |
|                      | そ                           | の           |                  | 4,475 | 入       |            |   |     |
|                      |                             |             |                  |       | 他       | 20,576     |   |     |
| 営業<br>支<br>支<br>そ    | 業<br>支<br>支<br>そ            | 外           | 費                |       |         |            |   |     |
|                      |                             |             |                  | 払     | 利       | 19,496     | 息 |     |
|                      |                             |             |                  | 払     | 手       | 2,571      | 料 |     |
|                      |                             |             | の                | 1,970 | 他       | 24,038     |   |     |
| 経特<br>特              | 常別<br>固<br>移<br>減<br>固<br>そ | 資           | 利<br>利<br>損      |       |         | 141,773    |   |     |
|                      |                             |             |                  | 産     | 産       | 768        | 却 | 768 |
|                      |                             |             | 損                | 701   | 失       |            |   |     |
|                      |                             |             | 損                | 698   | 失       |            |   |     |
|                      | 定                           | 資           | 産                | 3,440 | 除       |            |   |     |
|                      |                             |             | の                | 155   | 他       | 4,995      |   |     |
| 税金等調整前当期純利益          |                             |             |                  |       |         | 137,545    |   |     |
| 法人税、住民税及び事業税         |                             |             |                  |       | 151,780 |            |   |     |
| 法人税等調整額              |                             |             |                  |       | △23,990 | 127,790    |   |     |
| 当期純利益                |                             |             |                  |       |         | 9,754      |   |     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益      |                             |             |                  |       |         | 9,754      |   |     |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目       | 金 額       | 科 目             | 金 額       |
|-----------|-----------|-----------------|-----------|
| (資 産 の 部) |           | (負 債 の 部)       |           |
| 流 動 資 産   | 938,031   | 流 動 負 債         | 230,225   |
| 現金及び預金    | 821,619   | 1年内返済予定の長期借入金   | 201,440   |
| 短期貸付金     | 112,500   | 未払金             | 20,719    |
| 前払費用      | 2,025     | 未払費用            | 720       |
| その他       | 1,885     | 未払法人税等          | 2,372     |
| 固 定 資 産   | 1,847,439 | 預り金             | 2,129     |
| 投資その他の資産  | 1,847,439 | その他             | 2,842     |
| 関係会社株式    | 1,823,414 | 固 定 負 債         | 882,800   |
| 繰延税金資産    | 9,175     | 長期借入金           | 882,800   |
| その他       | 14,850    | 負 債 合 計         | 1,113,025 |
| 繰 延 資 産   | 7,594     | (純 資 産 の 部)     |           |
| 株式交付費     | 7,594     | 株 主 資 本         | 1,616,279 |
| 資 産 合 計   | 2,793,065 | 資 本 金           | 397,846   |
|           |           | 資 本 剰 余 金       | 1,257,209 |
|           |           | 資本準備金           | 360,346   |
|           |           | その他資本剰余金        | 896,862   |
|           |           | 利 益 剰 余 金       | △38,776   |
|           |           | その他利益剰余金        | △38,776   |
|           |           | 繰越利益剰余金         | △38,776   |
|           |           | 新 株 予 約 権       | 63,761    |
|           |           | 純 資 産 合 計       | 1,680,040 |
|           |           | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 2,793,065 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(2025年7月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額     |
|--------------|---------|
| 営業収益         | 81,138  |
| 営業費用         | 122,322 |
| 営業損失         | 41,184  |
| 営業外収益        |         |
| 受取利息         | 283     |
| その他の         | 0       |
| 営業外費用        |         |
| 支払利息         | 4,716   |
| 支払手数料        | 642     |
| 上場関連費用       | 1,000   |
| その他          | 216     |
| 経常損失         | 47,476  |
| 税引前当期純損失     | 47,476  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 475     |
| 法人税等調整額      | △9,175  |
| 当期純損失        | 38,776  |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主総会参考書類

第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案において同じ。）全員（5名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、経営体制の強化のため1名増員し、取締役6名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しまして、当社の指名・報酬委員会及び監査等委員会は、取締役会の監督と執行のあり方、取締役候補者の選任基準等を確認し、検討を行いました。その結果、各候補者の当事業年度における業務執行状況及び業績等を勘案し、当社の指名・報酬委員会及び監査等委員会において、すべての候補者について適任であると判断しております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名                  | 現在の当社における地位 |                                                                                     |
|-------|---------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1     | から 唐 津 とし 敏 のり 徳    | 取締役会長       | <input type="checkbox"/> 再任                                                         |
| 2     | いち のへ 戸 さとし 敏       | 代表取締役社長     | <input type="checkbox"/> 再任                                                         |
| 3     | たか はし ま き こ 高 橋 真喜子 | 取締役専務上級執行役員 | <input type="checkbox"/> 再任                                                         |
| 4     | とみ た とも みつ 富 田 智 光  | 執行役員        | <input type="checkbox"/> 新任                                                         |
| 5     | くり はら よし こ 栗 原 喜 子  | 社外取締役       | <input type="checkbox"/> 再任 <input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立 |
| 6     | わた なべ のり ひと 渡 邊 徳 人 | 社外取締役       | <input type="checkbox"/> 再任 <input type="checkbox"/> 社外 <input type="checkbox"/> 独立 |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                          | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する<br>当社の株式数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | から っ とし のり<br>唐 津 敏 徳<br>(1963年11月13日)<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div> | 1986年 4 月 東京海上火災保険株式会社（現・東京海上日<br>動火災保険株式会社）入社<br>1991年 7 月 南カリフォルニア大学院 経営学修士コース<br>派遣<br>1992年 6 月 南カリフォルニア大学院 経営学修士コース<br>課程修了<br>2012年 7 月 同社 内部監査部 参与<br>2013年 7 月 同社 内部監査部 主任監査役<br>2014年 4 月 同社 大分支店長<br>2018年 4 月 東京海上日動ファシリティーズ株式会社転籍<br>九州支店長<br>2022年 4 月 株式会社エージェント・インシュアランス・<br>グループ 取締役会長（現任）<br>2023年 3 月 株式会社保険ショップエージェント 取締役<br>（現任）<br>2025年 7 月 当社 取締役会長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 取締<br>役会長<br>株式会社保険ショップエージェント 取締役 | 7,000株         |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b><br/>           唐津敏徳氏は、損害保険会社の支店長として、代理店経営の指導・支援をしていた豊富な経験や、損害保険会社のコンプライアンス・ガバナンス強化のため内部監査に従事していた豊富な経験と高い見識を当社の経営に活かし、当社の発展に大きく貢献してまいりました。同氏を取締役候補者とした理由は、こうした豊富な経験や実績を活かし、代表取締役社長の上位職である取締役会長として、重要な業務執行の決定及び代表取締役社長・執行役員等の職務執行の監督を行い、取締役会の牽制・監督機能の強化に貢献するものと判断したためです。</p> |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                    | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する<br>当社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | いちのへ さとし<br>一戸 敏<br>(1968年2月10日)<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div> | 1988年10月 公認会計士渡辺二郎会計事務所入所<br>1990年7月 税理士大矢靖税務事務所入所<br>1997年2月 有限会社サンインシュアランスデザイン設立<br>代表取締役<br>2001年6月 株式会社サンインシュアランスデザイン<br>(現・株式会社エーエージェント・インシュア<br>ランス・グループ) 設立 代表取締役社長 (現<br>任)<br>2015年2月 マハロキャピタル株式会社 (現・株式会<br>社ザ・ファーストドア) 設立 代表取締役 (現<br>任)<br>2015年11月 Shinseiki Insurance Group, Inc. (現・<br>Agent America, Inc.) Director (現任)<br>2019年9月 株式会社保険ショップエージェント 代表取<br>締役社長<br>2020年12月 株式会社保険ショップエージェント 取締役<br>2021年4月 株式会社保険ショップエージェント 代表取<br>締役会長 (現任)<br>2025年7月 当社 代表取締役社長 (現任)<br>2025年12月 ファイナンシャル・ジャパン株式会社 取締<br>役 (現任)<br><担当><br>内部監査部管掌<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 代表<br>取締役社長<br>株式会社保険ショップエージェント 代表取締役会長<br>Agent America, Inc. Director<br>株式会社ザ・ファーストドア 代表取締役<br>ファイナンシャル・ジャパン株式会社 取締役 | 612,000株       |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b><br/>           一戸敏氏は、当社の重要な子会社である株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの創業者であり、会計事務所・税務事務所等で培った会計・財務の高い見識を活かして長年にわたりマーケットの拡大を図りながら、保険代理店の事業承継のビジネスモデルを確立し、当社の発展に大きく貢献してまいりました。同氏を取締役候補者とした理由は、こうした豊富な経験や実績を活かし、重要な業務執行の決定、コンプライアンス・ガバナンスの強化、執行役員等の職務執行の監督に十分な役割を果たし、当社のさらなる企業価値向上に貢献するものと判断したためです。</p> |                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                         | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                       | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                 | たか はし まきこ<br>高橋 真喜子<br>(1974年9月14日)<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div> | 1997年4月 東京海上火災保険株式会社（現・東京海上日<br>動火災保険株式会社）<br>2004年5月 株式会社エーエージェント（現・株式会社エージ<br>エント・インシュアランス・グループ）入社<br>2009年5月 同社 取締役 社長室長<br>2013年7月 同社 専務取締役<br>2018年1月 同社 取締役副社長<br>2022年3月 同社 専務上級執行役員 兼 経営企画本部<br>エグゼクティブゼネラルマネージャー（現<br>任）<br>2024年7月 University of Wales Trinity Saint David<br>MBA Program（経営学修士課程）修了<br>2025年7月 当社 取締役専務上級執行役員（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 専務<br>上級執行役員 兼 経営企画本部 エグゼクティブゼネラル<br>マネージャー | 35,500株        |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>高橋真喜子氏は、当社の主要子会社である株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループに入社以来、経営企画業務に従事した後、取締役としてグループのオペレーションを総括し、現在は専務上級執行役員として経営企画、人事企画、情報システム、経理、財務、総務業務を総括しております。同氏を取締役候補者とした理由は、こうした豊富な経験や実績を活かして、取締役会の構成員として、重要な業務執行の決定と監督に十分な役割を果たし、当社のさらなる企業価値向上に貢献するものと判断したためです。</p> |                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                  | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する<br>当社の株式数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <p style="text-align: center;">とみ た とも みつ<br/>富田 智光<br/>(1984年9月19日)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">新任</p> | <p>2007年4月 株式会社エーエージェント（現・株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ）入社</p> <p>2017年4月 同社 経営企画部 ゼネラルマネージャー</p> <p>2018年1月 株式会社FIND 常務取締役</p> <p>2024年4月 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 執行役員 兼 経営企画本部 ゼネラルマネージャー</p> <p>ファイナンシャル・ジャパン株式会社 専務取締役執行役員 兼 管理本部長</p> <p>2025年7月 当社 執行役員 経営管理部長（現任）</p> <p>2026年2月 ファイナンシャル・ジャパン株式会社 専務取締役 管理本部長 兼 経営企画部長 兼 人事総務部長 兼 社会貢献室長（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）</p> <p>ファイナンシャル・ジャパン株式会社 専務取締役 管理本部長 兼 経営企画部長 兼 人事総務部長 兼 社会貢献室長</p> | 3,600株         |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>富田智光氏は、当社の主要子会社である株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ入社以来、営業部門での実務を経て、長年経営企画業務に従事し、グループの成長を牽引してまいりました。現在は、グループ各社の役員として経営企画、管理、IT、人事、社会貢献など広範な部門を総括しております。同氏を候補者とした理由は、グループ事業への深い理解と、多岐にわたる実務経験に基づく高度な知見を有しており、取締役会における適切な意思決定と監督を通じて、当社の企業価値向上に貢献するものと判断したためです。</p> |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                               | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p style="text-align: center;">ふりがな<br/>氏名<br/>(生年月日)</p> <p style="text-align: center;">くり はら よし こ<br/>栗原喜子<br/>(1978年5月25日)</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社外</div><br/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">独立</div> </div> | <p>2010年12月 弁護士登録</p> <p>2010年12月 金井法律事務所入所</p> <p>2013年4月 篠崎総合法律事務所入所（現任）</p> <p>2015年11月 林糖尿病内科クリニック治験審査委員会 審査委員（現任）</p> <p>2021年8月 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役</p> <p>2022年4月 東京簡易裁判所 民事調停委員（現任）</p> <p>2023年4月 関東弁護士会連合会 地域司法充実推進委員会 委員（現任）</p> <p>2025年4月 社会福祉法人げんき 苦情解決第三者委員（現任）</p> <p>2025年7月 当社 社外取締役（現任）</p> <p>2025年8月 渋谷区興行場法、旅館業法及び公衆浴場法運営協議会委員（会長）（現任）</p> <p>2026年2月 株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 取締役（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）</p> <p>篠崎総合法律事務所 弁護士</p> <p>林糖尿病内科クリニック治験審査委員会 審査委員</p> <p>株式会社エージェント・インシュアランス・グループ 取締役</p> <p>東京簡易裁判所 民事調停委員</p> <p>関東弁護士会連合会 地域司法充実推進委員会委員</p> <p>社会福祉法人げんき 苦情解決第三者委員</p> <p>渋谷区興行場法、旅館業法及び公衆浴場法運営協議会委員（会長）</p> | 一株             |
| <p>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</p> <p>栗原喜子氏は、社外取締役候補者であり、同氏を社外取締役候補者とした理由は、法律の専門家としての豊富な経験と高い見識を引き続き当社の経営に活かしていただくためであります。選任後は弁護士としての専門的な知見を活かし、主に法的な観点から経営全般の監督機能及び利益相反の監督機能の強化のため尽力いただくことを期待します。同氏は過去に社外取締役となること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、上記の理由から社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                     | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する<br>当社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6                                                                                                                                                                                                                                             | わた なべ のり ひと<br>渡 邊 徳 人<br>(1968年3月2日)<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社外</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">独立</div> | 1997年5月 税理士登録<br>1997年6月 株式会社サニーサイドアップ (現・株式会社サニーサイドアップグループ) 監査役<br>2001年11月 株式会社キューベルズシンク 監査役<br>2002年7月 税理士法人渡邊国際会計事務所 (現・WIA税理士法人) 設立<br>2005年7月 株式会社サニーサイドアップ (現・株式会社サニーサイドアップグループ) 取締役<br>2006年2月 株式会社ワイズインテグレーション 取締役<br>2006年9月 株式会社サニーサイドアップ (現・株式会社サニーサイドアップグループ) 代表取締役副社長 (現任)<br>2012年7月 株式会社クムナムエンターテインメント代表取締役 (現任)<br>2013年12月 SUNNY SIDE UP KOREA,INC 代表取締役 (現任)<br>2017年7月 株式会社フライパン 代表取締役会長 (現任)<br>2020年3月 株式会社ステディスタディ 代表取締役 (現任)<br>2022年3月 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 社外取締役<br>2025年7月 当社 社外取締役 (現任)<br>2026年2月 株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 取締役 (現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社サニーサイドアップグループ 代表取締役副社長<br>株式会社クムナムエンターテインメント 代表取締役<br>SUNNY SIDE UP KOREA,INC 代表取締役<br>株式会社フライパン 代表取締役会長<br>株式会社ステディスタディ 代表取締役<br>株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ 取締役 | 一株             |
| <p><b>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</b><br/>           渡邊徳人氏は、社外取締役候補者であり、同氏を社外取締役候補者とした理由は、企業経営者としての豊富な経験と高い見識を引き続き当社の経営に活かしていただくためであります。選任後は、経営経験者としての専門的な知見を活かし、主に経営的な目線から経営計画の策定等に関し取締役会等においてご発言をいただくとともに経営計画の進捗状況等につき監督していただくことを期待します。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 栗原喜子氏及び渡邊徳人氏は、社外取締役候補者であります。
3. 栗原喜子氏は現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって7カ月となります。
4. 渡邊徳人氏は現在当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって7カ月となります。
5. 当社は、栗原喜子氏及び渡邊徳人氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としており、両氏が取締役に選任され就任した場合、両氏との当該契約を継続する予定であります。
6. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険により、被保険者がその地位に基づいて行った行為に起因して、損害賠償請求された場合の法律上の損害賠償金及び訴訟費用が補償されます（株主代表訴訟の場合を含む）。被保険者が違法に利益又は便宜を得た場合や、犯罪行為、不正行為、詐欺行為又は法令、規則若しくは取締法規に違反することを認識しながら行った行為については免責となります。各候補者が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
7. 当社は、栗原喜子氏及び渡邊徳人氏を名古屋証券取引所の定めにに基づく独立役員として届け出ております。両氏の再任が承認された場合は、当社は引き続き両氏を独立役員とする予定であります。
8. 一戸敏氏の所有する当社の株式数には、同氏の資産管理会社である株式会社ザ・ファーストドアが保有する株式数も含めて記載しております。

【ご参考】取締役会の構成及び取締役のスキル・マトリックス

本定時株主総会において取締役候補者を原案どおりご選任いただいた場合の当社取締役会の構成は、下表のとおりとなります。

| 氏名    | 地位             | 社外 | 独立 | ジェンダー | 専門性    |        |                  |        |                   |                                                |                  |                  |
|-------|----------------|----|----|-------|--------|--------|------------------|--------|-------------------|------------------------------------------------|------------------|------------------|
|       |                |    |    |       | 企<br>経 | 業<br>営 | 業<br>界<br>知<br>見 | 営<br>業 | グ<br>ロー<br>バ<br>ル | 法<br>務<br>コ<br>ン<br>プ<br>ラ<br>イ<br>ア<br>ン<br>ス | 財<br>務<br>計<br>算 | 人<br>事<br>労<br>務 |
| 唐津敏徳  | 取締役            |    |    | 男性    | ○      | ○      | ○                | ○      |                   |                                                |                  |                  |
| 一戸敏   | 代表取締役          |    |    | 男性    | ○      | ○      | ○                | ○      | ○                 | ○                                              | ○                | ○                |
| 高橋真喜子 | 取締役            |    |    | 女性    | ○      | ○      |                  |        |                   | ○                                              | ○                | ○                |
| 富田智光  | 取締役            |    |    | 男性    | ○      | ○      | ○                |        |                   |                                                | ○                | ○                |
| 栗原喜子  | 取締役            | ○  | ○  | 女性    |        | ○      |                  |        |                   | ○                                              |                  | ○                |
| 渡邊徳人  | 取締役            | ○  | ○  | 男性    | ○      | ○      |                  | ○      | ○                 | ○                                              |                  |                  |
| 長島芳明  | 取締役<br>(監査等委員) | ○  | ○  | 男性    |        |        |                  | ○      | ○                 | ○                                              | ○                |                  |
| 橋内進   | 取締役<br>(監査等委員) | ○  | ○  | 男性    | ○      |        |                  | ○      |                   | ○                                              |                  |                  |
| 二木洋美  | 取締役<br>(監査等委員) | ○  | ○  | 女性    |        |        |                  | ○      | ○                 | ○                                              |                  |                  |

(注) 各取締役の有する主な専門性に○印を付けております。

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額設定の件

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、「対象取締役」という。）の報酬等のうち金銭で支給するものの額につきましては、当社定款附則第2条(最初の取締役の報酬等)第1項において、当社の設立の日から本総会終結の時までの期間の報酬等のうち金銭で支給するものの総額は、年額300百万円以内とすることを定めております。

つきましては、本総会終結後の当社の対象取締役の報酬等の額につきまして、改めてご承認いただきたいと存じます。

対象取締役の報酬等の額を、当社の事業規模、役員報酬体系及び支給基準等を総合的に勘案し、引き続き年額300百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与を含まない。）といたしたいと存じます。

本議案の内容は、当社の「取締役の構成、取締役・執行役員を選解任及び報酬等に関する方針」に合致するものであり、当社の任意の指名・報酬委員会における審議・答申を経て取締役会において決定しており、相当であるものと判断しております。

なお、現在の対象取締役は5名（うち社外取締役2名）ですが、第1号議案が原案どおり承認可決された場合、対象取締役は6名（うち社外取締役2名）となります。

### 第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対するストック・オプション報酬額及び内容決定の件

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、「対象取締役」という。）のストック・オプションとしての新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）に関する報酬等の額につきましては、当社定款附則第2条（最初の取締役の報酬等）第3項において、当社の設立の日から本総会終結の時までの期間の対象取締役の報酬等のうち本新株予約権に関する報酬等の額（新株予約権の割当日において新株予約権の公正価値の算定のために一般的に利用されている算定方法を用いて算定した新株予約権1個あたりの公正価格に、割当てる新株予約権の総数を乗じた額）は、同定款附則第2条第1項の金銭報酬の額の枠内にて、年額150百万円以内（うち、社外取締役分については25百万円以内）とすることを定めております。

つきましては、本総会終結後の対象取締役に対する本新株予約権に係る報酬及び内容につきまして、改めてご承認をいただきたいと存じます。

対象取締役へ当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として相当と考えられる金額として、対象取締役の本新株予約権に係る報酬等の額を引き続き、第2号議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額設定の件」で提案させていただいた報酬枠内において年額150百万円以内（うち、社外取締役分については25百万円以内）とし、その内容は以下のとおりといたしたいと存じます。

また、各対象取締役への具体的な配分については、指名・報酬委員会の審議・答申を経た上で、その意見を尊重して取締役会において決定いたします。

なお、現在の対象取締役は5名（うち社外取締役2名）であります。第1号議案が原案どおり承認可決された場合、対象取締役は6名（うち社外取締役2名）となります。

#### （1）新株予約権の数

発行する新株予約権の上限は、900個（うち社外取締役分は150個）とする。

#### （2）新株予約権の目的である株式の種類及び数

発行する新株予約権の目的である株式の数の上限は90,000株（うち社外取締役分は15,000株）とする。なお、新株予約権の目的である株式の種類は普通株式とし、新株予約権1個あたりの目的である株式の数（以下、「付与株式数」という。）は100株とする。

なお、付与株式数は、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割（当社普通株式の無償割当てを含む。以下同じ。）または株式併合を行う場合、次の算式により調整されるものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で行使されていない新株予約権の目的である株式の数についてのみ行われ、調整の結果生じる1株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。

調整後付与株式数＝調整前付与株式数×分割（または併合）の比率

また、本新株予約権の割当日後、当社が合併、会社分割、株式交換または株式交付を行う場合、その他これらの場合に準じ付与株式数の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に付与株式数の調整を行うことができるものとする。

（3）新株予約権と引換えに払い込む金額

新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないものとする。

（4）新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権1個あたりの行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株あたりの払込金額（以下「行使価額」という。）に付与株式数を乗じた金額とする。

行使価額は、新株予約権を割り当てる日の属する月の前月の各日（取引が成立していない日を除く。）における名古屋証券取引所における当社普通株式の終値の平均値に1.05を乗じた金額（1円未満の端数は切り上げ）とする。ただし、その価額が本新株予約権の割当日の終値（取引が成立していない場合はそれに先立つ直近取引日の終値）を下回る場合は、当該終値を行使価額とする。

なお、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

1

調整後行使価額＝調整前行使価額× $\frac{1}{\text{分割（または併合）の比率}}$

また、本新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分または合併、会社分割、株式交換及び株式交付による新株の発行及び自己株式の交付の場合を除く。）、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\begin{aligned} & \text{新規発行株式数} \times \text{1株あたり払込金額} \\ & \text{既発行株式数} + \frac{\text{既発行株式数} \times \text{新規発行前の1株あたりの時価}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}} \\ \text{調整後行使価額} = & \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}} \end{aligned}$$

なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当会社普通株式にかかる発行済株式総数から当会社普通株式にかかる自己株式数を控除した数とし、また、当会社普通株式にかかる自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替えるものとする。

さらに、上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が合併、会社分割、株式交換もしくは株式交付を行う場合、その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に行使価額の調整を行うことができるものとする。

(5) 新株予約権を行使することができる期間

割当日から新株予約権の付与決議の日後2年を経過した日から当該付与決議の日後10年を経過する日までの範囲内で、取締役会が決定する期間とする。

(6) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、取締役会の承認を要する。

(7) 新株予約権の行使の条件

- ①新株予約権者は、新株予約権の権利行使時において、当会社または当会社関係会社の取締役（監査等委員である取締役を含む。）、監査役、執行役員または従業員であることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職、その他正当な理由があると取締役会が認めた場合は、この限りではない。
- ②新株予約権者の相続人による本新株予約権の行使は認めない。
- ③本新株予約権の行使によって、当会社の発行済株式総数が当該時点における発行可能株式総数を超過することとなるときは、当該本新株予約権の行使を行うことはできない。
- ④各本新株予約権1個未満の行使を行うことはできない。

(8) 新株予約権の取得に関する事項

- ①当社が消滅会社となる合併契約、当社が分割会社となる会社分割についての分割契約もしくは分割計画、または当社が完全子会社となる株式交換契約、株式交付計画もしくは株式移転計画について株主総会の承認（株主総会の承認を要しない場合には取締役会決議）がなされた場合は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、本新株予約権の全部を無償で取得することができる。
- ②新株予約権者が権利行使をする前に、上記（7）に定める規定により本新株予約権の行使ができなくなった場合は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、行使ができなくなった当該新株予約権を無償で取得することができる。

(9) その他の新株予約権の募集事項

その他の新株予約権の内容等については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定める。

#### 第4号議案 監査等委員である取締役の報酬額設定の件

当社の監査等委員である取締役の報酬等のうち金銭で支給するものの額につきましては、当社定款附則第2条（最初の取締役の報酬等）第2項において、当社の設立の日から本総会終結の時までの期間の報酬等の総額は50百万円以内とすることを定めております。

つきましては、本総会終結後の当社の監査等委員である取締役の報酬等の額につきまして、改めてご承認いただきたいと存じます。

監査等委員である取締役の報酬等の額を、当社の事業規模、役員報酬体系及び支給基準等を総合的に勘案し、引き続き年額50百万円以内といたしたいと存じます。本議案の内容は、当社の「取締役会の構成、取締役・執行役員の選解任及び報酬等に関する方針」に合致するものであり、相当であるものと判断しております。

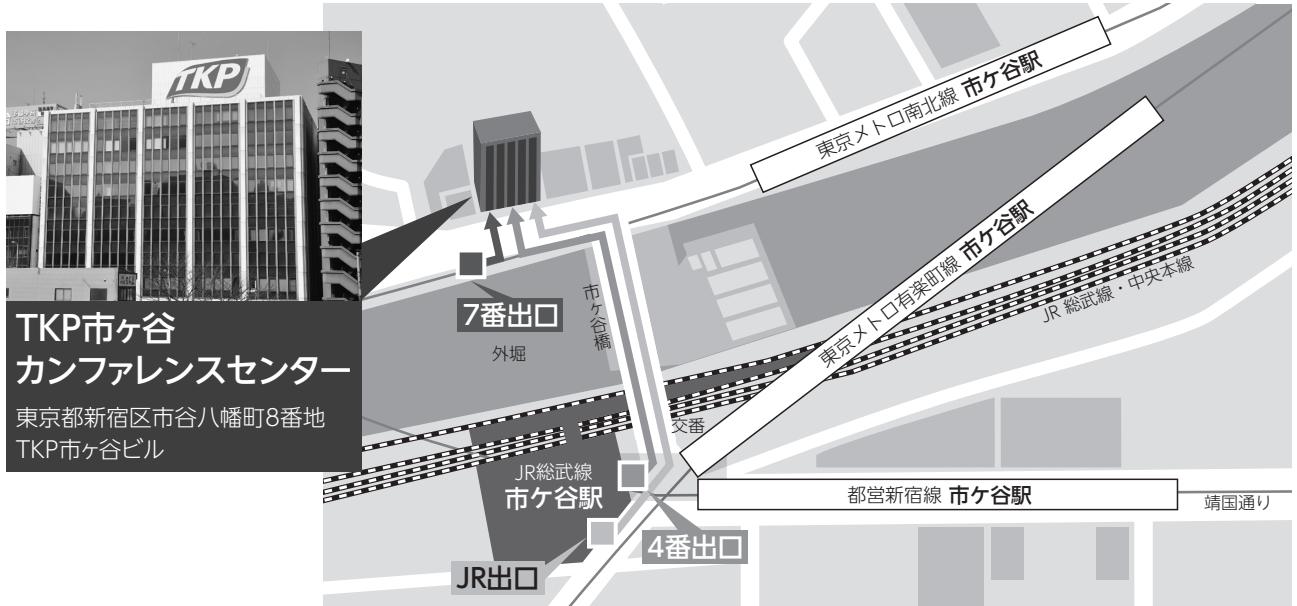
各監査等委員である取締役に対する具体的な金額、支給時期等は、監査等委員である取締役の協議のうえ決定いたします。

なお、現在の当社の監査等委員である取締役は3名（うち社外取締役3名）であります。

以上

## 株主総会会場ご案内図

会場：〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル  
TKP市ヶ谷カンファレンスセンター カンファレンスルーム7C



|    |           |             |       |
|----|-----------|-------------|-------|
| 交通 | J R 総武線   | 市ヶ谷駅 JR出口より | 徒歩 2分 |
|    | 東京メトロ南北線  | 市ヶ谷駅 7番出口より | 徒歩 1分 |
|    | 東京メトロ有楽町線 | 市ヶ谷駅 4番出口より | 徒歩 2分 |
|    | 都営新宿線     |             |       |